

13 A 5  
(13 B 2)  
(02 1)

特 許 公 報

特 許 出 願 公 告  
昭35-15013

公告 昭 35.10.11 出願 昭 35.2.24 特願 昭 35-4836  
出願人 発明者 松 廣 直 前橋市神町町 61  
出願人において発明者の特許の用意がある。

(全1頁)

伸縮壁を有する密閉処理槽

図面の略解

第1図は本発明実施例の縦断面図、第2図はカムの側面図である。第3図はカムと転子とローラーの関係を示す図面である。

発明の詳細な説明

本発明は被処理物質と処理液とを収容した被処理物を処理する密閉槽をその側壁の一部が伸縮し得る如く構成し機械的圧力を加え取縮させ次いで圧力を取り去り膨張させ槽内に圧力の変化を起し被処理物中の気泡を吸縮膨張させ処理物に対し液を浸透脱出させ槽の変形により起る液の移動により液の作用を活発とし被処理物の処理を促進するものである。密閉槽を伸縮せしめるため槽の下部に転子を設けカムにより槽下部に係する転子先端を上下せしめ、上昇により槽下部を押し上げ伸縮壁を圧縮し液を槽上部に移動し槽内空気を圧縮し、下降により空気の圧力を押し上げられた液の落下の勢により伸縮壁を伸ばし槽内を減圧させ液を移動させる。

第1図に示す如く槽1の下部を伸縮壁2にて構成し蓋3をネジ4横行5により締め付け伸縮壁を有する密閉槽を構成する。ハンドル6を回転し歯車9、10を経て歯車10面のカム7を回し転子8のローラー14を歯車10面より押し上げれば、転子8の先端ローラー15は上昇し、蛇腹2を圧縮し蛇腹2中の液を仕切板11上に押し上げ空気層12を圧縮する。カム7の歯面によりローラー14がカム面の凹

部13に陥入すれば転子8の先端ローラー15は急速に降下し空気層12は急速に膨張し槽1中の液は仕切板11を通じ急速に蛇腹2に移動する。この間に発生する槽内の強力な圧力の変化と仕切板11を通過する液の移動により仕切板11上の被処理物は処理される。

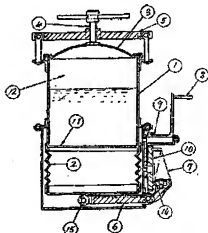
ハンドル6を連続して回転すればカム7の連続回転により転子8の先端ローラー15は反復上下し槽1内には圧縮、膨張、液の移動が繰り返し発生し処理は一層促進される。又液の流れにより被処理物より吸縮される物質は仕切板11下の蛇腹2内に吸引され被処理物には良好な洗滌効果が与えられる。本発明は液動力によつて密閉槽を伸縮させて処理を行うので加熱の必要はなく経済的であり、被処理物は低温に於て処理され膨張も少いので損傷は少く、又処理効果は反復して与えられるのでその効果は大きい。

処理に薬液を使用する場合密閉槽内処理であるため作業は合理化され果敢に効果的に利用され作業者が薬液により損傷を受ける危険も少ない。カムと転子により槽を伸縮するためカムの適当な形状により槽内の圧縮膨張は合理的に行われる。

特許請求の範囲

伸縮壁を有する密閉槽にカムと転子により機械的圧力を加え槽を圧縮し圧力を取り去り膨張させ槽内に起る液の移動により被処理物の処理を行う伸縮壁を有する密閉処理槽。

第1図



第2図



第3図

